



「五ヶ瀬中学校校歌より」

# 学び舎

五ヶ瀬中学校 学校便り  
令和6年12月19日 No.9  
文責:校長 永富雅樹

## 校外の講師による活動の実施

### 【① 国際理解講座 ② 町議会傍聴 ③ 租税教育教室】

今月は、校外からの講師による教育活動を多く企画し、実施しました。12月3日に、県の国際交流員であるケスラー・キャサリン様を五ヶ瀬中に招いて、国際理解講座を行いました。イギリス出身のキャサリンさんよりイギリスの歴史、文化などプレゼンを使って説明をしていただきました。その後、3年生はキャサリンさんと給食を一緒に食べてもらい、話もたくさん弾んだようです。同じく3日の午後には、1年生が町議会の一般質問の傍聴に議場を訪れました。質問事項は、児童生徒数の減少による今後の五ヶ瀬町の教育の在り方や課題についてやイノシシなどによる獣害対策などでした。五ヶ瀬町の抱えている問題やこれからの展望など議場で直接聞けて、今後のGDPへの取組にもつなげていける活動になったかと思えます。

12月10日には、3年生に対し、租税教室を実施しました。当日は、財務省九州財務局の宮崎財務事務所から3名、延岡税務署から1名の計4名にお越しいただき、税のことや日本の財政等、我が国が抱えている問題点について、分かりやすく説明していただきました。3年生は、社会科の単元としてこれから学習する内容ですのでいい予習にもなったかと思えます。



## 生徒集会の実施 ～礼儀とは～

12月4日に生徒会役員による生徒集会が実施されました。内容は、5月に行った生徒総会で提案された、礼儀についてのまとめでした。3年生中心の旧生徒会役員から、「①なぜ、礼儀は大切なのか?」「②良い礼儀とはどのような行動なのか?」「③これから自分の礼儀で意識していきたいこと?」について、説明があり、全校生徒一人一人が考えて、用紙に記入していきました。説明の中で「良い礼儀とは、相手に嫌な気持ちにさせないこと。」とあり、礼儀とは、相手を敬い、認めることにつながるというメッセージを感じました。全校生徒の皆さんも、よく分かってくれたと思います。しかし、分かっているけど、なかなか出来ないことなのかもしれません。なぜ、出来ないのでしょうか。多分、自分のことを優先したり、相手に先入観をもっていたり、事実を確認せずに誤解をしていたりなどがあるのではないのでしょうか。そのことが意地悪な気持ちになり、いじめにつながることもあるかと思えます。これを機会によく考えてみてください。



## 五ヶ瀬デザインプロジェクト(GDP) 審査会及び表彰式

11月26日に3年生代表5名による発表会が五ヶ瀬町役場にて開催されました。この日は、小迫町長をはじめ、町の行政の中心の方々が多数参加され、発表内容の審査を行っていただきました。審査の結果は以下のとおりです。

中学校では、小中9年間で行っている豊かな体験活動の集大成として「五ヶ瀬デザインプロジェクト(GDP)」に取り組んでおり、9月に校内発表会を実施して、発表者が選考され、当日にのぞみました。これまで以上に細かく調べて、生徒のみなさんの五ヶ瀬町にかけるとの思いが伝わりましたし、これから町を支える人材に成長することを期待しています。



- ◇ 最優秀賞 吉田 こはる さん  
「中学生が主となり SNS で五ヶ瀬町の魅力や伝統を発信したら、五ヶ瀬町をより活性化させられるだろう」
- ◇ 優秀賞 中村 幸太郎 さん  
「五ヶ瀬町を一生安心して暮らせる町にすれば子育て世代の人々が増えて五ヶ瀬町が活性化するだろう」
- ◇ 優秀賞 藤木 心春 さん  
「新しい特産品を作れば、町の人も観光客も楽しみ豊かな五ヶ瀬町になるだろう」
- ◇ 優良賞 後藤 祐哉 さん  
「代行サービスを活用することで高齢者の住みやすい町になるだろう」
- ◇ 優良賞 平山 咲佑希 さん  
「チャレンジに焦点を当てて、五ヶ瀬町を満喫できる環境をつくれれば、五ヶ瀬町が活性化するだろう」

